

■ 江別市民憲章の背景、解説等

(1) 憲章前文の意義

私たちは、屯田兵によってひらかれた江別の市民です。

ひろびろと広がる石狩平野

ゆうゆうと流れる石狩川

緑深い野幌の原始林

今に残る開拓のあしあと

私たちは、この恵まれた郷土の自然と歴史をこよなく愛し、
よりよい江別の発展を願いこの憲章を定めます。

私たちは、明治の初めに北方防備とエゾ地開拓を任務とした屯田兵の尊い苦難と努力によって切り開かれた江別の市民であります。

ひろびろと広がる石狩平野と北海道の母なる川、石狩川のゆうゆうとした流れは、それぞれ心豊かで寛容な人間の姿を表しています。

また、自然を生かされた緑深い野幌の原始林を擁し、開拓の苦労が人々の心にきざまれ語りつがれて今に伝えられてきています。

これらの背景により、この憲章を定めたものであります。

(2) 憲章本文

1. 空も緑も美しい、のびのびとしたまちをつくりましょう。

繁栄とやすらぎの中で生活できるよう、市民一人ひとりが明るく美しくのびのびとした環境づくりに努めよう。

1. 力をあわせ、産業をさかんにし、豊かなまちをつくりましょう。

市民一人ひとりが仕事に対する情熱と創意工夫、相互研鑽を惜しまず誠実と不屈の精神力を高め、それぞれの持てる能力を発揮して、産業をさかんにし、活気のある豊かなまちづくりに努めよう。

1. 教養を深め、文化のかおり高いまちをつくりましょう。

研修の意欲を高め常に人間性の高揚に努めるとともに情操豊かで、科学と芸術のかおりゆたかなまちづくりに努めよう。

1. 健康でたのしい家庭と明るいまちをつくりましょう。

健全な心身を養い、保健衛生につとめ、くらしのきまりをまもって、家族と社会との人間関係を深め進んでスポーツ、レクリエーションを行い、楽しい家族とまちづくりに努めよう。

1. 老人をいたわり、子どもの夢をそだてるまちをつくりましょう。

それぞれの立場で、現代社会を築き貢献してきた老人を敬愛して、みんなが等しく温かい手を差し伸べ、次代を担う子どもには、家庭、学校、社会、行政が力を合せて夢をもたせ、それを育てるまちづくりに努めよう。

(3) 市民憲章本文に関する実践項目例

1. 空も緑も美しい、のびのびとしたまちをつくりましょう。

- ① 緑化運動、花のある街並みづくり運動
- ② 街や公園の美化
- ③ 地域の清掃
- ④ 騒音や悪臭を出さない
- ⑤ 環境衛生（蚊やハエの駆除）公衆衛生

1. 力をあわせ、産業をさかんにし、豊かなまちをつくりましょう。

- ① 労使相互の理解を深め、権利を尊重し義務をはたす。
- ② 職場の安全衛生の確立
- ③ 仕事の合理化、能率化、技術の向上
- ④ 資源の有効活用
- ⑤ 地元消費の協力

1. 教養を深め、文化のかおり高いまちをつくりましょう。

- ① 衣、食、住の工夫
- ② 教養施設の拡充、学校教育の充実、社会教育の振興
- ③ 学校と家庭と社会の提携
- ④ 文化活動
- ⑤ 文化財の愛護

1. 健康でたのしい家庭と明るいまちをつくりましょう。

- ① 日常生活にスポーツやレクリエーションを取り入れる。
- ② 近隣は互いに親しみ助け合う。
- ③ 言葉づかいや挨拶の礼儀を正す。
- ④ 時間やきまりを守り、公德心を高めよう。
- ⑤ 交通安全、防犯、防火、防災

1. 老人をいたわり、子どもの夢をそだてるまちをつくりましょう。

- ① 老人をいたわり、生きがいをもたせる。
- ② 老人を中心とした家族のだんらん
- ③ 子どもの健全な育成
- ④ 老人や子どもの施設の充実
- ⑤ 老人と子どもの交流